

東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース
2022年度A2ターム 都市社会論（都市経営基礎第4）
シラバス

担当 祐成 保志（東京大学准教授）
渡邊 隼（日本大学専任講師）

期間 2022年12月02日～2023年02月03日

時間 金曜6限（18:40～20:05）・7限（20:10～21:35）（85分×2）

開講形態 オンライン（ZoomのURLはITC-LMSでお知らせします）

<講義の目的>

本講義では、「まちづくり」という集合的な実践について、主に社会学の観点から整理、分析、考察する。

かつて、経済開発一辺倒だった都市政策の問題性を主張し、社会開発（シビル・ミニマムの達成）を要求した住民運動／市民運動は、「まちづくり」という流れに結実した。その後、現代に至るまで「まちづくり」という実践は多様な領域に展開し、「まちづくり」という言葉は社会に定着したが、その一方で、「まちづくり」の意味は多義化し、捉えがたいものになってきている。

そこで、本講義では、担当者およびゲストスピーカーによる最新の研究／実践報告を素材にして、「まちづくり」という実践を社会的な切り口から捉え、どのような記述や分析、考察が可能になるのかということについて紹介、検討していきたい。その上で、受講者との双方向的なコミュニケーションを図り、相互理解を促進することを目指す。

I. 都市居住の社会学 12月02日

都市は、住民が形成する社会関係のネットワークやその活動の集積である。そして、都市は物的な構造であり、その建設・管理・利用の過程である。また、都市はテキストを通じて経験されるとともに、それ自体が身体によって書き込まれたテキストである。こうした都市の複合的な性質について、住宅／居住にかんする社会学の展開を手がかりに考察する。

- ③ 授業のすすめ方、インストラクション
- ① 祐成保志 「都市空間の管理」
- ② 祐成保志 「意味世界としての住居」

II. 居場所の社会学 12月09日

人は、どのような条件がととのったときに、ある地点や空間が自分の居場所であるという感覚をもつのだろうか。居場所は、たんなる物理的な容器ではなく、人と空間の社会的・心理的な関係を指している。居住を交渉の過程としてとらえつつ、都市コモنزの概念を手がかりに、居場所の成立条件と役割を探る。

- ③ 祐成保志 「交渉過程としての居住」
- ④ 祐成保志 「都市コモنزの可能性」

III. 社会学におけるコミュニティ研究 12月16日

こんにちの「まちづくり」で重要な概念のひとつとされている「コミュニティ」は、近代社会のはじまりとともに発展した社会学における中心的な問題のひとつであった。前半は、古典的な理論と経験的調査を中心に社会学のコミュニティ研究の系譜をたどる。後半は、近年の社会学のコミュニティ研究と「まちづくり」がどのように関わっているのかを中心に検討する。

- ⑤ 渡邊隼 「社会学のコミュニティ研究の系譜」
- ⑥ 渡邊隼 「「コミュニティ」から「まちづくり」へ」

IV. 日本社会におけるコミュニティの歴史と現在 12月23日

その指し示すところが地域社会であるにせよ、オンラインであるにせよ、ときに広く、あいまいな「コミュニティ」という概念を日本社会に生きる人びとがあたりまえのように使いはじめたのは、それほど遠い昔のことではない。前半は、日本社会におけるコミュニティの受容の発端を1970年代に探る。後半は、20世紀末には顧みられなくなっていたコミュニティがふたたび多用されはじめた21世紀初頭に焦点をあてる。

- ⑦ 渡邊隼 「コミュニティの発端」
- ⑧ 渡邊隼 「コミュニティ再興／再考」

V. ゲスト講義(1) 建造環境としての都市 01月06日

- ⑨ 三浦倫平(横浜国立大学准教授)
- ⑩ 植田剛史(愛知大学准教授)

VI. ゲスト講義(2) グローバル・シティ 01月20日

- ⑪ 武岡暢(立命館大学准教授)
- ⑫ 齊藤麻人(横浜国立大学教授)

VII. ゲスト講義(3) ローカル・コミュニティ 01月27日

- ⑬ 源川真希(東京都立大学教授)
- ⑭ 小山弘美(関東学院大学准教授)

VIII. まとめ 02月03日

期末レポートの作成に向けて、受講者が各自の関心領域についての調査・考察の経過を報告し、討議を行う。

- ⑮・⑯ 受講者報告(各10分) コメント: 渡邊隼・祐成保志

期末レポート 02月10日頃 締切り

- 共通テーマ 都市社会論と各自の問題関心の接点
- 分量 4000～6000字程度
- 提出方法 メールで担当教員2名に提出してください
watanabe.shun@nihon-u.ac.jp
sukenari@l.u-tokyo.ac.jp